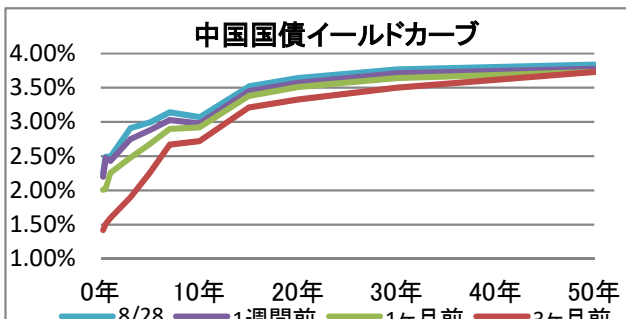
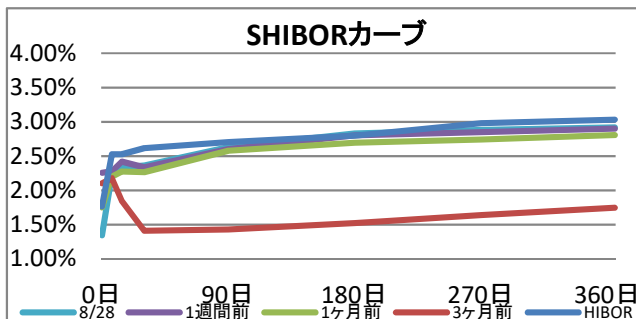


①市場概況

基準レート		2020/8/28	(前週末比)
人民元基準値	USD/CNY	6.8891	-0.0216
	JPY/CNY	6.4581	-0.0771
SHIBOR	3M	2.6300%	+0.0290%
国債利回り	10年	3.07%	+0.09%
上海総合指数		3,403.81	+23.13



(1) 概況

ワクチン開発等の世界的なコロナウイルス対応の進展や延期されていた米中通商電話協議実施を好感して株高となったものの、南シナ海をめぐる米国の中国企業への禁輸措置や中国による中距離弾道ミサイル発射等が相次いでおり、依然として楽観ムードが広がる状況にはなっていない。また、ジャクソンホール会合においてパウエルFRB議長が示した新たな金融政策枠組みは金融緩和政策の長期化を示唆したものの、市場の反応は大きなものとはならなかった。

中国金融市場では、中国国内景気回復期待から株高と債券安（利回り上昇）が続いており、外為市場では人民元が対ドルで上昇する展開となった。

また、上海でのブラックストーン全額出資ファンドマネジメント会社の認可や深圳と香港の取引所におけるEFTの相互乗り入れ実現による対外開放が進む一方、中国銀保監会は銀行保険会社ガバナンス健全化3年プログラムを發布し、国内金融機関に対する管理体制強化を進めている。

(2) 金融調節

中国人民銀行は、リバースオペ期日6,100億元とMLF期日1,500億元の合計7,600億元に対し、新規リバースオペ8,100億元を実施し、差し引き500億元を供給している。なお、MLFについては先週期を迎えた4,000億元が7,000億元に増額されていたことから、MLF単体では8月に回収5,500億元、新規7,000億元により差し引き1,500億元が供給されている。

(3) 主な経済指標

工業部門利益（7月）は、前年比+19.6%（6月+11.5%）と増益幅を拡大させており、企業収益の改善が確認できる内容となっている。業種別では、自動車や電子機器の改善が顕著で、中国政府による各種コスト削減政策の効果も確認できる内容となっている。

②資金市場

(1) 人民元資金市場

	SHIBOR	無担保資金	レポ	NCD AAA
ON	1.3450%	1.8500%	1.3500%	
1W	2.2350%	4.5000%	2.7000%	2.3000%
2W	2.3380%	2.4000%	2.6000%	2.3000%
1M	2.3660%	2.5500%	2.5500%	2.3100%
3M	2.6300%	3.0500%	2.8000%	2.6600%
6M	2.8340%	3.5000%	3.9500%	2.8900%
9M	2.8830%			2.9500%
12M	2.9220%			2.9700%

中国人民銀行は、地方債増発や月末越えの資金需給等への調整が求められる状況下、金利水準を乱高下させることなく安定した調整を続けている。ターム物は1ヶ月の2.40%前後での出会いを除き限定的となっている。

NCDも、資金需給の若干のタイト化による小幅な金利上昇が続いたものの、高めの金利水準での資金運用ニーズは依然強く、金利上昇余地は限定的。ターム物の金利水準は1ヶ月2.30%前後、3ヶ月2.65%前後、6ヶ月2.90%前後、1年2.95%前後に小幅上昇しているものの活発な取引が続いている。

(2) 米ドル資金（本土内）

	BID	OFFER
ON	0.03%	0.04%
1W	0.08%	0.10%
1M	0.18%	0.20%
3M	0.35%	0.40%
6M	0.60%	0.65%
12M	0.85%	0.90%

引き続きドル資金需給は安定し、積極的なターム物の調達が見られない中、1ヶ月が0.17%前後で取引されている以外は閑散としているものの、四半期末越えを意識した調達興味が増加してきている。

③人民元債券市場

	国債	地方債AAA	金融債AAA	社債AAA	社債AA
3M	2.25%	2.32%	2.60%	2.75%	3.04%
6M	2.49%	2.52%	2.86%	3.01%	3.31%
1Y	2.49%	2.60%	3.00%	3.08%	3.38%
3Y	2.91%	3.08%	3.47%	3.68%	3.98%
5Y	2.99%	3.17%	3.66%	3.97%	4.60%
10Y	3.07%	3.56%	3.84%	4.15%	4.88%

債券市場では、延期されていた米中通商協議の実施や中国国内景気の回復が確認できる経済指標加え、ワクチン開発を含む国際的なコロナウイルス対策進展への期待に基づく世界的な債券利回り上昇を背景に、中長期債を中心に利回り上昇が続いている。10年国債利回りもあっさり3%を越えて3%台での取引が続いているが、上昇余地は限定的との見方も。

イールドカーブは中期債を中心に上方シフトが起こる中でヘアフラットニングが続いており、短期では信用債利回りが大きく上昇し、中長期では利率債利回りの上昇が大きかったことから、クレジットスプレッドは短期では拡大する一方で中長期では縮小している。

④先物為替市場

	USD / CNY
1W	28.0 / 29.5
1M	178.0 / 180.0
3M	396.0 / 400.0
6M	740.0 / 745.0
9M	1058.0 / 1068.0
12M	1366.0 / 1370.0

対ドル基準レートは6.8891と前週末比-216pipsのドル安元高、対円基準レートは6.4581と同-771pipsの円安元高と、元高を映じた水準で設定されている。市場取引においても、米中通商電話会議実施を好感した元買いによりあっさり6.90台を割り込み、中国の景気回復期待の高さも手伝い7ヶ月来の水準となる6.87台まで元が買い進まれている。

先物は、ドルと人民元の金利差に大きな変化がなく、スワップ幅にも大きな変化はなかったものの、ドルの先安感等も手伝って若干ながら縮小している。

⑤金利スワップ

	Quarterly 7d Repo A/365	Quarterly 3M SHIBOR A/365 A/360	Annually O-N SHIBOR A/365 A/360
3M	2.46%		2.09%
6M	2.49%	2.88%	2.10%
9M	2.50%	2.91%	2.18%
1Y	2.51%	2.93%	2.20%
3Y	2.71%	3.24%	2.25%
5Y	2.86%	3.46%	
7Y	2.98%	3.63%	
10Y	3.13%	3.82%	

短期の基準金利と債券利回りがともに上昇を続けており、スワップ金利の上昇幅も拡大している。これまで縮小を続けていた債券利回りとの金利差のスワップスプレッドは、小幅ながら拡大に転じている。

◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くことがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。